

《Lesson 2》肯定文に使われる「名詞 + that + 文」

そしてこの「名詞+that」の形を文に入れる場合、「主語」や「目的語」として使われます。詳しく見ていきましょう。

《肯定文に使われる「名詞 + that + 文」》

- (1) 基本的に文の種類（be動詞 / 一般動詞 / 助動詞の文など）に関係なく

「主語」や「目的語」などの場所に、この **that** のフレーズを入れる

- (2) 理解のポイント：「**that + 文**」と「他の部分」を分けて考える

＜例＞ That is the computer (that) he wants to buy.

(あれは、彼が買ったがっているパソコンです)

Some English teachers (that) I know can also teach German.

(私が知っている何名かの英語の先生はドイツ語も教えることができます)

I was looking for the book (that) she was talking about.

(私は彼女が話していた本を探していました)

ポイント！前置詞で文が終わることもある

今回の練習では with / about で文が終わることがあります。少し違和感があるかもしれませんが、以下のように「2文をつなげ、繰り返しの部分を削除」と考えれば、なぜ前置詞で終わるかが理解できると思います。

＜例1＞ He is the doctor. She wants to talk with the doctor.

→ He is the doctor (that) she wants to talk with ~~the doctor~~.

(the doctor が繰り返しになるので、2回目を削除)

＜例2＞ I was looking for the book. She was talking about the book.

→ I was looking for the book (that) she was talking about ~~the book~~.

(the book が繰り返しになるので、2回目を削除)

【肯定文に使われる「名詞 + that + 文」：作り方】

ステップ①：文に登場する「説明される名詞」と「説明する文」を見つける。

ステップ②：「説明する文」を除いて、文を作る。

ステップ③：「説明される名詞」の後に「説明する文」を足す。

＜例1＞ あれは、彼が買ったがっているパソコンです。

ステップ①：文に登場する「説明される名詞」と「説明する文」を見つける。

説明される名詞：「パソコン」 = the computer

説明する文 : 「彼が買いたがっている」 = (that) he wants to buy

ステップ② : 「説明する文」を除いて、文を作る。

「あれがパソコンです」 = That is the computer

ステップ③ : 「説明される名詞」の後に「説明する文」を足す。

That is the computer (that) he wants to buy.

<例2> 私が知っている何名かの英語の先生はドイツ語も教えることができます。

ステップ① : 文に登場する「説明される名詞」と「説明する文」を見つける。

説明される名詞 : 「何名かの英語の先生」 = some English teachers

説明する文 : 「私が知っている」 = (that) I know

ステップ② : 「説明する文」を除いて、文を作る。

「何名かの英語の先生はドイツ語も教えられます」

Some English teachers can also teach German.

ステップ③ : 「説明される名詞」の後に「説明する文」を足す。

Some English teachers (that) I know can also teach German.